

# 避難やか速い従いに指示

可児 可茂学園で利用者ら訓練

訓練後に消防車を見学する利用者たち  
可児市瀬田の可茂学園で



可児市瀬田の知的障害者支援施設「可茂学園」の利用者と職員が三十一日、火災を想定した避難訓練に臨んだ。

三月に園の前の歩道に消火栓が新設されたことから、今回初めて可茂消防事務組合の消

防車が参加し、放水活動を実演した。

施設は通所者と入所者を合わせ、十〜七十代の約八十人が利用。毎月防災訓練を行っており、今回は同組合南消防署と御嵩分署の職員が協力した。

午後二時、非常ベル

が鳴って「食堂から出火」とアナウンスが流れると、各棟で作業していた利用者は職員の手引に従って屋外に避難し、点呼を受けた。化学車が到着した後、隊員による放水を見守った。

南消防署の相馬力夫

(神谷慶)

## 魚に触れてニッコリ

瑞浪 幼児園で移動水族館

土岐川などに生息する魚に触れ、自然に興味が関心を持ってもらうイベント「移動水族館」が三十一日、瑞浪市竜吟幼児園で開かれた。

〇〜五歳の園児四十三人が参加。市自然ふれあい館と多治見市の土岐川観察館の共催で、瑞浪市内では年一回開いている。

土岐川観察館では、コイやナマス、ミドリガメ、サワガニなど十種をそれぞれおけやバケツに入れて用意。同



「重い」と言いながら上げる園児